

地区広報

# はづ

No. 17

羽津地区市民センター  
羽津地区社会福祉協議会  
平成元年3月15日

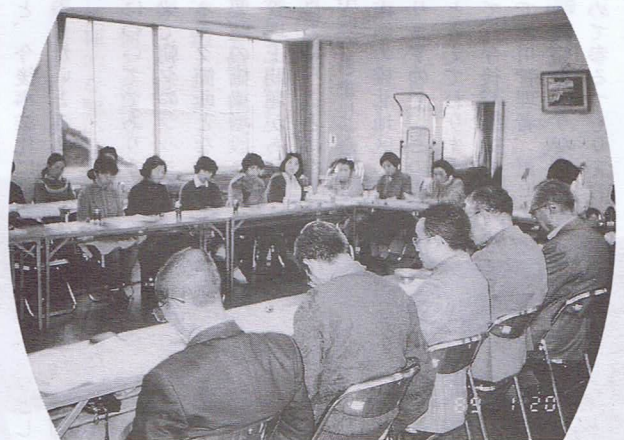


▲入浴サービスの講習会

## 福祉元年

羽津地区の

福祉の向上は  
みんなの手で!!



▲大ぜい集まったボランティア研修会

羽津地区の人口 総数…13,994人 男…7,076人 女…6,918人 世帯数…4,535世帯 (H.1.2.28現在)

一九八八年七月二十五日  
於羽津地区市民センター

質問と回答



# 市長を囲む地区懇談会

(一) 市道三重橋、垂坂線の国道23号線への接続と古新田地区開発促進のための海蔵川への橋梁の増設について  
富士町自治会長 浜野 豊

現状の市道三重橋垂坂線は、JR東海の線路手前で途切れた状態であり、地域の発展の為に早期に国道23号線と接続を図りたい。また、羽津・橋北両地区の発展にも必要な南北交通路線として、現在の新開橋の隣へ現状の橋と同じ橋梁を増設されたい。

ご指摘の都市計画街路であります。三重橋垂坂線は、新開橋以東は、ご指摘のとおり未整備で、この計画はJR関西線をアンダーで、更に国道23号線を立体交差として計画決定がなされている所でございます。



▶早期開発が待ち遠しい……。

朝夕の往き来はむずかしい？



ます。このように短かい区間において、アンダー、立体交差と主要な構造物があり、莫大な事業費を必要としますので、早期事業化については、極めてむずかしい事情であります。しかし周辺の道路事情を踏まえ、今後事業化に向けて努力して参りたいと考えております。

次に新開橋についてであります。が、狭隘な橋梁で朝夕のラッシュ時には交通のネック箇所となっております。ご要望の橋梁増設については、河川管理上問題があり、橋梁の拡中改良ということになります。ただ拡中につきましては、ご存知のとおり南側の橋北地区の道路が狭隘でありますので、この点の整合が必要と考えております。したがって、今後、橋梁の拡中改良の方向で河川管理者、更に橋北地区との調整を図りながら測量調査を進めて参るつもりであります。

(二) 校庭内外の環境整備について  
小・中PTA代表

(1) 学童が安心して通学できる道路の整備をお願いしたい。

近年、通学路の整備に対するご要望が大変多くなっております。そこで本年の五月から六月にかけて、全小・中学校を対象に、PTAのみなさんのご協力をいただき、通学路の危険箇所の調査を実施いたしました。

この調査結果をもとに、南警察署、北警察署にもご協力をいただき、市の関係課(道路課・交通安全対策室・教育委員会)と調整会議をもち、今後は、現場の調査等を実施するなどし、緊急度の高いところから、計画的に順次、改善していきたくと考えております。



(2) 校庭の砂塵対策についてお願いしたい。

羽津北小学校のグラウンドの砂塵については、周辺の住民のみならず、大変ご迷惑をおかけしております。当校については、開校時風当りの良い場所であるとし、砂塵対策について、運動場に散水栓等を整備してまいりました。

しかし、当時の設備は、取扱いに手間がかかるようでありまして、今後、スプリンクラー等、操作が簡単である施設に改修してまいりたいと考えております。なお、この夏休みを利用して、羽津小学校の砂塵対策工事を施工させていただきます。

(3) 深夜の学校周辺の暴走族等の取り締まりをお願いしたい。

学校周辺での暴走行為については、周辺住民の方から四日市北警察署へ苦情等もいただいております。警察より警戒パトロールに出てもらっていますが、市からも更にその強化をお願いしていきます。

(三) 地域に子どもたちの活動の場としての「遊び施設」の設置について



羽津地区青少年育成協議会長 村瀬 重行

都市化の進行の中で子どもたちの遊び場は奪われつつあります。子どもたちにとって「学校と家庭の中間にある遊び場」は重要であるのに単位地区的な児童館、児童遊園はないように思われます。そこで日常の遊び施設として児童館の設置を要望いたします。

現在、市内には児童館三カ所と子どもの家一カ所が設けられております。他の地区懇談会でも要望がありますが、今後は、地区市民センターや他の公共施設など既存の施設をできるかぎり有効活用す

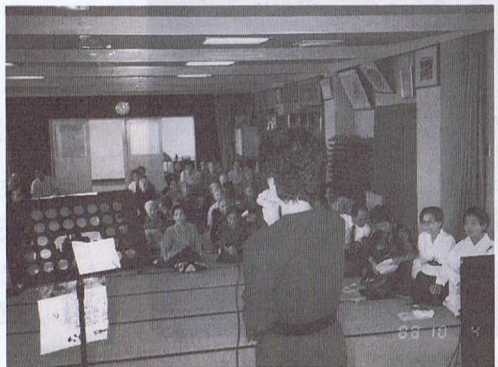


▶羽津地区にもこのような場所が……。

## 三泗カラオケサークル

### 老人ホーム慰問!!

昭和六十三年十月四日、三泗カラオケサークルが、泊町にある老人ホーム寿楽園を慰問しました。歌の好きな十数名の方々が、羽津会館を根城に、その美声を鍛えに鍛えてきたサークルの成果を、社会福祉に何とか役立てたいとの積極的な願いから、実現が図られたので



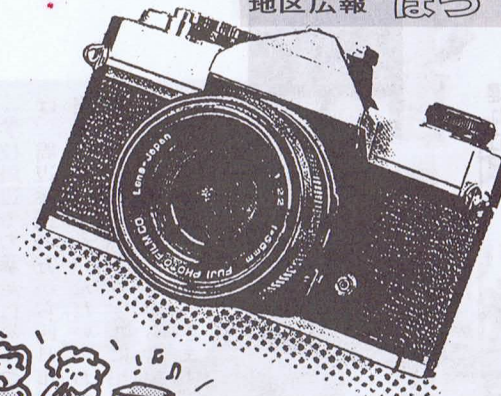
▲満足気な、お年寄りたち!

名調子の司会と、出演者の歌詞に応じた舞台衣裳に雰囲気も盛り上がり、居並ぶお年寄りたちは、次から次へと歌うその美声に酔って満場の拍手や笑いがわきあがり、われもわれもの飛び入りもあって、なごやかな楽しい一日でありました。

また、老人のみなさんのお顔や眼には、きらりと光る輝きも見られ、きつと明日への生活の希望の糧を得ていたのだいもの、出演者一同が、いいしれぬ満足感に浸ることができたことは、誠に有難いことでありました。

いま、市民センターや羽津会館では、いろいろなグルー

プギサークルで、それぞれに有意義なお勉強がおこなわれていますが、これらは、自身自身の趣味や教養を高めるだけでなく、これらの技術や知恵を交換しあう生活文化の交流、かわりあい、近隣活動として大切に考えられなければならぬと思えます。さらには、この活動のひろがりや深まりが、いわゆる地域の教育力を高め、ひいては、住みよい羽津地区を創造していくものと、日頃から思われ



楽しかった  
面白かった

# 地区行事

# アルバム



地区総合大運動会  
於 羽津小学校

▲それ/よいしょ……!



▲大きな口をあけて、あ〜ん!



地区盆踊り大会  
於 羽津小学校

▲ちょっとさみしいかなあ?



▲あなたも踊りの輪に入ったら……



地区ゲートボール大会  
於 羽津小学校

▲さあ、慎重にねらって!!



▲センセイ/われわれは……



地区地震防災訓練  
於 羽津中学校

▲ああ、いそがしい炊き出し訓練



▲手押しポンプの調子は?



地区文化祭  
於 羽津幼稚園

▲おとっと……



▲わあ〜、きれいねえ!



地区敬老会  
於 四日市ヘルスセンター

▲今日は、本当におめでとうございます。



▲今年も来られてよかったねえ!!

# 地区市民センター講座あれこれ

## ためになった羽津周辺の 史跡めぐり

羽津小五年 細谷 紀子

八月一日、市民センターに集まり、自転車でまわりました。とても天気の良い日でした。最初、志氏神社に行きました。ここは、七五三やお祭りなどでよく来たことがあります。けれど、気をつけてみると、ふつうの鳥居と少しちがう。「八幡の鳥居」や「従是北桑名領」の碑など気づかなかった物がたくさんありました。それに、ここは三百年ほど前、海であって「四泥能崎」と言われていたそうです。



▲ここが志氏神社の.....

趾に行きました。石垣があるお城ではなく板ぶきのお城だったようです。昭和三年、近鉄電車が通るようになった時、「トンネルに通ずるか」「山を切ってその間に通ずるか」とか話し合いがあった、電車が通るのを見れるので今の形になったそうです。そして、電車が通るがめずらしかったので上からながめたそうです。

次に光明寺に行きました。ここは羽津小学校がたん生した所です。明治七年、先生二名、児童七十名で授業が始まりました。通学地域は、羽津地域全域と茂福・垂坂村でした。

そして米洗川にそって斎宮跡・太川遙拝所趾にいき、いかるがの淨恩寺で、おべんとを食べました。とてもあつかったので、水とうに入れてきた冷たい麦茶が何倍もおいしく感じられました。それから別名にある長谷神社に行きセンターにもどって来ました。案内してくださった、森さんと矢守さんのおじさんの話を聞きながら、スライドを見ました。

私が住んでいる、羽津のいろいろな歴史を教えてもらい、楽しかったです。森さん、矢守さん、センターのおじさん、ありがとうございました。

## 楽しかった親子の 革手芸教室

羽津北小四年 森 みどり

わたしは最初、学校で、「子ども教室のお知らせ」というのをくばってもらって、「ふりん、四年生からか。行ってみたいな」と思いました。お母さんと出るのは初めてです。「みんなお母さんと来てるかナ」と思いながら来てみると、子どもたちだけで来ている人もいました。

わたしは、プローチを作ることになりました。見本を見てヒマワリを作ろうと決めました。初めは、「うわーヒマワリっていつてもむづかしそうだなあ。きちんとできるかなあ」と心配でいっぱいでした。

作り始めは、かたがみにそって切ります。切る時も、「まちがえてへんなどころを切らないかな」と思いながらやると切れました。

その次は形を作ります。おったりしてやつとヒマワリの形になりました。次：たねの部分にあたるところは、しっばいしてばかりでした。こまかく切るので、わたしは「きょうじやないからたねの部分は、大変だ」と思いながらやりました。色をぬる時は、服に付



▲うまく作れるかなあ？

ないようにと気をつけてやりました。あとは、ドライヤーでかわかして、ポンドをつけるだけです。ところが、ポンドをつける時、前にすわっていた女の子が大変くろうしてやりました。ポンドが手についたりして、とれなくなったりしました。それからポンドがかわくまで、お母さんの所でちよつと見ていました。お母さんは、となりにすわっているわたしの友だちとおしゃべりばかりしていました。ポンドがかわいたあと、キラキラ光っている紙みたいなの一ミリメートルくらいの物を上からまぶして、できあがり。



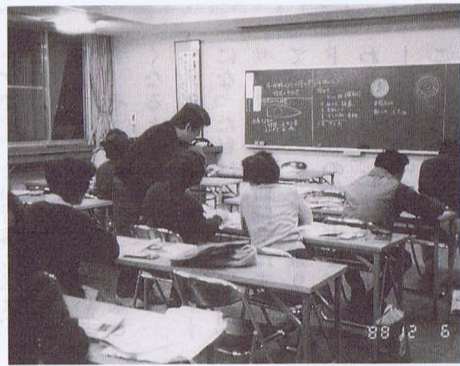
心配ばかりしていたけど、上手にできたのでよかったです。この次は、いもうともつれて来たいと思っています。



▲夏休み子ども料理教室



▲毎回、好評の高齢者教室



## 「木版画教室」に 参加して

別名六丁目 六代 恵子

昨秋、羽津地区市民センターで行なわれました「版画教室」に思いがけず、ひよんな事から参加させて頂きました。彫刻刀を持ったのは記憶も定かでない程遠い昔でしたが、二十名の皆さんの仲間に入れて頂きました。

まず、先生から版画に関する概略説明をお聞きし、図案を決め、書く事から始めました。そして図案を木版に写し、いよいよ彫りに入ります。刀の持ち方、左手の添え方と刀と手が一体となった見事な先生の実演で説明を受け本番となりましたが、見るとやるとでは大違い。カーブや細い線の難しい事、悪戦苦闘の末、何とか彫る所は彫り、溝も十分出来たし、これ



▲水墨画教室

でいいと思ひ見て頂ければ、「もっと深く彫って下さい」と言われ、生半可な彫りではいけないのかと思ひ、力が入り手まで彫ってしまいました。

最後は摺りです。彫りがしつかりしてあれば、ただ摺ればいいのかと思えば、作品が生きるも死ぬも摺りにあると聞きびっくり。思った色を滑らかに満遍なく出すのはとても難しい事でした。それでも何とか出来上り、最終回の日は皆さんで作品を出し合いました。

時季的に年賀状が多かったのですが、已はやりによくいせいもあり、思い思ひの作品ができ、多色刷の見事な作品を前に皆さん満足感で一杯だったのではないのでしょうか。また、先生の作品も見せて頂き、とても版画とは見えない緻密さに感嘆致しました。

これからは版画の時代と言われるているそうですが、嬉しそうに版画の話がされるお顔と頭の中は、常に画材を考えていると言われた言葉がとて印象に残りました。

## 体力づくり駅伝大会

羽津北小五年 熱田 梢

今日、1月29日、駅伝大会に参加した。はじめは、ぜんぜん意味がわからなかったけど、だんだんわかってきて、ならんでいるときは、すごくきんちょうしました。

私は8番だった。それで7番の子たちが走っていったので、スタートの所でまっていた。7番のさいつかおちやんが近づいてくるたびに、「はやく走れるかなあ」と心配していた。それで、かおちやんからタスキをもらって走りました。私は、いっしょうけんめい走りまわった。とちゆうで、太田よう子ちゃんにぬかれてしまいました。かぜがすごくて、なかなか走れなかった。さいごにタスキを外して次の人にタスキをわたしました。もう、くるしくって

くるしくってたまらなかつた。私は、かおちやんのとかなりできゆうけいしました。きゆうけいしていた時は、ハーハーといっついていました。とつてもつかれました。そのあと、みんなでぜんざいを食べた。トラックの上で、らっきよとうめぼしとこんぶがあった。私は、よう子ちゃんとトラックの所へいって、うめぼしをとって食べた。ぜんざいは、とつてもおいしかった。あとのしるがのめなかつたからのこした。そのあと、また手で、うめぼしをとって食べた。



羽津北小六年 藤井 尚幸

みんなが食べおわると、ノートをくばられた。マラソンは、えらかったけど、でもたのしかった。

はくと弟は、羽津北小であった駅伝大会に参加しました。弟と同じチームで走ったのですが、弟は黄色、はくは白チームでした。弟は黄チームの三人目で、どべでタスキをもらってスタートして行きました。弟の走っているのを見て、「がんばれががんばれがもう少して一人抜かぞ」と応援していました。ゴール前で一人抜いてすひろーやったな」とさけんでいました。弟は、はくの所へきて、「あんなもんあたり前や」と言

って平気な顔をしていたので、せっかくなんでやったのにそんなにかかると思った。後で弟に聞くと、どべでスタートして一人くらい抜いても、ちつともうれしくないと言っていました。

はくは、白チームの十四番目だったので、走る番まで白を応援して待っていました。はくの前を走った前田君が一人抜いて二位でもどつてきました。はくの走る番です。かんとくが「一番になれよ」と応援してくれたので、おもしろい走り、と思つてタスキをもらってスタートしました。

でも、コースは雪がとけてどろどろになっていて何度もすべってこけそうになりました。こけると後ろの子に抜かれるし、弟にもはかにされるので、こけそうになると手でバランスをとって必死でゴールまで走りまわりました。やつこのとで、二位のままタスキを伊原君にわたしてゴールしました。もう少して一人抜けたのに残念でした。弟に「どうやった」と聞くと、「遊んどつて何も見てへんだ」と言うので、何か腹が立ってききました。「はくは、弟をいっしょうけんめい応援してやったのに、……ブツブツブツ」

アンカーの十八番まで走りつって、一位は青で、はくの白チームは、二位のままでした。お昼になり、全員でぜんざいをもらって食べました。はくは、あまりぜんざいは好きではないのですが、今日のぜんざいは、あますぎなくて、もちもやわらかくてとてもおいしかったです。

帰り道で、この駅伝大会も来年は来れないのだと思うと、少しさみしくなりました。でも、よい思い出になると思います。

# 青少年協行事に参加して

羽津小六年 大橋 佳代

私は今までに、いろいろな青少年協行事に参加してきました。

うれしかったこと、楽しかったこと、つまらなかつたこと、いろいろなあつたけど、思い出に残ることはかりです。校庭キャンプ、球技大会、サプリーダー研修会、電車旅行の四つが、とても、とても楽しかった行事です。

校庭キャンプは、四年生から六年生までが、参加できます。私は、四年生から三年間、参加しました。テント張り、炊事、キャンプファイヤーという楽しいことばかりのキャンプです。その行事に私は、入学したての一年生から、参加できれば、いいと思います。そうすれば、もっと、楽しくなると思います。

六年生から、サプリーダーになった私は、今までに二回、サプリーダー研修会に参加しています。テントの張り方やドアかぎりの作り方などを教わりました。私は、サプリーダー研修会というのが、どんなことなのか知りませんでしたので、参加して、とてもよか



つたです。私のように知らない人も、いると思うので、サプリーダー研修会などの行事をもっとふやしてほしいです。私は、サプリーダーとして、みんなをまとめていけるように、尊敬されるような、サプリーダーになろうと思っています。今まで、数々の行事に参加して、青少年協のおじさん、おばさん、お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさんが、いつも、ニコニコして親切にしてくれたこと、本当にうれしかったです。私は、参加した人が「参加してよかった」とか「楽しかった」とか「言えれば、すばらしいことだ」と思います。中学校へ行くようになると、参加する機会が少なくなるけれど、できるだけ皆さんの青少年協行事に参加したいと思っています。

# 地区文芸

## 短歌



〈羽津野短歌会より〉

小林 英選

おせち料理狼にまかせ老いわれは  
歌誌新年号大晦日読む

別名四丁目 青木 照子

夫と同じ年の従兄の急死きくその  
妻の上をわれは思ひぬ

いかるが町 伊藤 品子

城山の松の梢にかり見ゆ冬のあ  
したの十五日の月

大宮町 小井 正二

食卓に前掛をして向かふとき妻に  
甘ゆる心となりぬ

大宮西町 故 井村佐兵衛

テレビよりG線上のアリア流札幌  
喪の今宵雨降り出てぬ

羽津町 梅本 きん

雲ひらけ志氏の社にかりたる元  
旦の朝の虹をおろがむ

大宮町 加藤 光子

平成の年へうつれる暁の恵みの雨  
の土にしみゆく

羽津山町 坂倉 俊枝

正月を風邪に臥りて帰省せぬ子を  
思ひつつ朝の餅炊く

富士町 杉本 光子

生きて来し昭和の御代の終る日ぞ  
吾の生れたる一月七日

富田浜町 早川 澄枝

ゴルフ場を買収さるる松山の替山  
を見に行くはさぶしも

川原町 平子 季昭

調律師の十八番の演奏聞けずして  
隣家のピアノの調律をはる

羽津町 玄瀬 敦子

天地に音もなく降る雨さびし吾は  
昭和の世を生きたしなり

羽津町 藤井まさこ

激動の昭和の御代に生きたし吾は  
踏み出だす平成元年

羽津町 前田素女子

黄落のつづける道を通夜に行く義  
妹の一生短かりけり

東阿倉川町 水谷 怜子

一万坪の冬枯れて松一群みどり  
しるけき庭しづかなり

桑名市 村田 千代

寺と墓地崩壊のテレビよく見れば  
過疎すすみたるおのが故里

桑名市 渡辺 茂子

## 俳句



〈志氏ヶ野句会より〉

村田青麦選

芋の葉にころがる露や子は遠し

大宮町 武藤 弘子

鶯草の四五花の飛んで雨の軒

白須賀二丁目 館 二三子

鶏頭の蜘蛛のひそむ花の装

大宮町 山本 幸

一日のつかれを虫の音に眠る

羽津町 大森みつゑ

病む膝の上に蓮の実もて遊ぶ

羽津町 藤井まさ子

倒伏の稲刈る鎌をちろろ眺ぶ

八田一丁目 久志李幹子

桜門に大草鞋掛け落葉寺

羽津町 藤井まさ子

五月雨や友の形見の黄八丈

城山町 川本 ふみ

くすり湯の肌にしみみる秋の宵

城山町 片岡とき代

秋の寺「無」一字の大壁書かな

別名五丁目 水谷 安代

懸大根細りて夕日透けにけり

羽津中一丁目 紀平とく子

新築の竹代る夫に茶菓はこぶ

いかるが町 安田 源吉

神祀る大岩月の幹一本

城山町 宮田 健蔵

## あとがき

地区広報「はづ」第十七号をお届けします。

今回は、一年間の地区行事を中心に上げてみました。

なお、何かお気づきの点がありましたら、当市民センターまでお聞かせ下さい。

編集メンバー

故武藤 秀雄 ◇天野 平一

◇奥村 光子 ◇大和みさ枝

◇酒井マチ子 ◇林 英雄

◇藤山まゆみ ◇松永 和子

◇水谷由紀子

◇羽津地区市民センター